



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに



電気を作るワークショップを体験したタンザニアの小学生の女の子。

電気のDIYから学べること

世界に住む80パーセント以上の人々が電気を使っていると聞くと、あなたはもう思うでしょうか。意外と行きわたっている？ そうでもない？——。実は世界の人口から概算するといまだに10億人以上の人が電気を使えない生活を送っていることになります。

そんな電気を使えない場所で生活する子どもたちに、太陽光発電の方法を教えるプロジェクトを行っているのがNPO法人Class for Everyone (C4E)です。

C4Eはタンザニアの非電化地域の小中学校で電気を作るワークショップを実施し、各学校に太陽光電源システムを導入してきました。また、最近では盗難防止のための移動型電源も開発し、必要な時に必要な場所に電気を届ける仕組みを構築しています。

この活動は、2013年にフィリピンを巨大台風が直撃した際に、現地にいた私が3週間の停電を経験したことをきっかけに始まりました。私たちの生活がいかに電気に依存しているか、それなのに電気の作り方もわからない。これはまずいと思い、日本の藤野電力という団体から電気の作り方を学び、それを非電化地域向けに展開しています。

この「電気を作る」という取り組みは、実は日本でもニーズが高まっています。

自然災害による大規模な停電が全国で毎年のように起こり、防災意識の向上をきっかけに電気のDIYに興味を持つ人々が増えています。自分で作った電気で明かりを点ける喜びは、世代や国境を超えてみんなを笑顔にしてくれます。

SDGsとは



持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)は「誰一人取り残さない」をスローガンに、格差や貧困、環境破壊など世界が直面している問題の根本的な解決を目指す17分野の国際目標。

持続可能な開発目標(SDGs)と
JICAの取り組み



今月の投稿(文と写真)高濱宏至さん
1985年、熊本県生まれ。2012年にNPO法人Class for Everyoneを設立し、おもにアジア・アフリカの地方部に住む子どもたち向けにICT教育環境を整える活動を開始する。16年以降は日本の地方に拠点を移し、オフグリッド電源作りや移動図書館車の運用などをアフリカと日本で実施している。

高濱さん(写真左)。

* これまでご寄稿をありがとうございました。2021年6月号からリニューアルを予定しております。ご期待ください。